

**東京文化財研究所 75 年史編纂事業 ( 情 04-06-1/2 )**

平成 19 年度の刊行をめざして、東京文化財研究所七十五年史に関わる資料収集を行い、沿革・調査研究篇については、各部・センターの担当者を中心として資料を収集し、原稿を作成した。事業・資料篇については、収集した資料をデジタルデータ化し、講座・研修・国際シンポジウム一覧等の事業関連資料とともに、事業に関連して収集された文献・画像等の一覧、旧職員一覧及び物故職員略歴などを編集、原稿化した。また、その一部を研究等に資するデジタル・コンテンツとして公開に向けて編集し、ホームページ上での公開に向けて加工を進めた。

**所蔵目録出版・バーコード化・広報企画事業(ニュースレター・概要・年報)( \* 情 05 )**

『東京文化財研究所年報』『東京文化財研究所概要』『東文研ニュース』の刊行は、所蔵目録・バーコード化・広報企画事業(ニュースレター・概要・年報)( 情 05 )の一環として実施した。詳細は、59 頁を参照。

**平成 17 年度日本美術年鑑 刊行事業・出版事業「美術研究」( 美 04-06-1/5 )**

**『日本美術年鑑』**

日本美術年鑑は、わが国の各年の美術活動と美術研究・批評の状況を記録した刊行物である。美術部では当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所が 1936 (昭和 11) 年から始めた「日本美術年鑑」の編集を引き継ぎ、刊行を継続してきた。2002 (平成 14) 年において、収録すべき情報の精選と分類の見直しをはかったが、今年度刊行した平成 17 年版においても、その方針を引き継ぎ編集した。平成 17 年版は、下記のような構成をとり、B5 版 361 ページとなった。なお、平成 19 年度より独立行政法人文化財研究所と独立行政法人国立博物館の統合に伴い、本年鑑を編集担当してきた美術部は当研究所企画情報部に整理統合することとなり、そのため同部による編集は今年度をもって最後とする。出版に際し、東京美術商協同組合より助成を受けた。



2004 (平成 16) 年美術界年史

美術展覧会 (企画展、作家展、団体展)

美術文献目録

定期刊行物所載文献

美術展覧会図録所載文献 (企画展、作家展)

物故者

**『美術研究』**

1932 (昭和 7) 年 1 月、東京文化財研究所の前身である美術研究所の初代所長・矢代幸雄の提唱により第 1 号を刊行。以来、75 年にわたり、日本・東洋の古美術ならびに日本の近代・現代美術とこれらに関連する西洋美術について研究論文・図版解説・書評、展覧会評、研究資料、研究ノートを掲載し続けている。本年度は 389 号、390 号、391 号を刊行した。出版に際し、東京美術商協同組合より助成を受けた。

